

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : 鉄筋コンクリート用異形棒鋼 (J I S G 3 1 1 2)
会社名 : 三興製鋼株式会社
住 所 : 神奈川県平塚市久領堤 2 番 1 9 号
担当部門 : 管理室
電話番号 : 0 4 6 3 - 2 2 - 1 7 5 0
F A X 番号 : 0 4 6 3 - 2 2 - 1 7 5 5
緊急連絡先 : 同上

2. 危険有害性の要約

G H S 分類区分 : 該当なし
その他の有害性 : 一般的な環境下では固体状態で安定しており、物理化学的危険性、人健康有害性環境有害性は無い。但し、取扱いについては以下の点に注意する。

- 重量物により、転倒、転がり、荷崩れ、落下等
- 鋼材の切断面、切削屑等による皮膚の裂傷
- 溶接、溶断、研磨等により発生したヒュームや粉塵による、呼吸器、目、又は粘膜等の刺激

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物 (合金)

主な成分

成分	含有量 (%)	CAS 番号	ICSC 番号	安衛法番号	GHS 番号
鉄 [Fe]	残部	7439-89-6	—	—	—
マンガン [Mn]	1.80 以下	7439-96-5	174	550	200
銅 [Cu]	1.00 以下	7440-50-8	240	379	850
ニッケル [Ni]	0.50 以下	7440-02-0	62	418	169
クロム [Cr]	1.00 以下	7440-47-3	29	142	108

CAS : Chemical Abstracts Service (化学物質登録システム)

ICSC : International Chemical Safety Cards (国際化学物質安全性カード)

安衛法 : 労働安全衛生法施工令第 18 条の 2、別表 9

GHS : Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals
(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)

成分の含有量は上記の範囲において、製品の規格、種類によって異なる。

上表の成分の他に、珪素[Si]、燐[P]、硫黄[S]等の微量元素を含む。

4. 応急処置

通常状態では固体であり、一般的な環境下では応急措置が必要な事態は発生しないが、溶接、溶断、研磨等により発生した粉塵、ヒュームを吸入、飲み込んだ場合、又は皮膚に付着した場合は、下記に示す応急措置の後必要に応じて医師の診断を受ける。

- | | |
|-----------|---|
| 吸入した場合 | : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息する。 |
| 皮膚に付着した場合 | : 速やかに水と石鹼等で洗浄する。 |
| 眼に入った場合 | : 速やかに水で洗浄する。 |
| 飲み込んだ場合 | : 多量の水を摂取して口をすすぐ。 |
| その他 | : 鋼材の切断面、切削屑等により皮膚を傷つけた場合、傷口の清潔を保ち、又アーク等により火傷した場合は患部を冷やす。 |

予想される急性症状及び遅発性症状

- | | |
|--------------|--------|
| 吸入した場合 | : 咳 |
| 眼に入った場合 | : 発赤 |
| 応急措置をする者の保護 | : 情報なし |
| 医師に対する特別注意事項 | : 情報なし |

5. 火災時の措置

通常状態では固体の為、不燃性であり、周辺の火災時にも消火器、水による消火を行っても問題ない。

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 消火剤 | : 特に制約なし（周辺火災に適応した消火剤を用いる） |
| 使ってはならない消火剤 | : 情報無し |

6. 漏洩時の措置

通常状態では固体の為、漏洩しない。

- | | |
|----------------|-----------------------------------|
| 人体に対する注意事項 | : 適切な保護具を着用し、粉塵、ヒュームの吸入や眼への侵入を防ぐ。 |
| 環境に対する注意事項 | : 切断、研磨等により発生した粉塵類は速やかに回収する。 |
| 封じ込め及び浄化方法及び機材 | : 発生した粉塵類は掃除機等を使って回収する事が望ましい。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

- | | |
|-----------|---|
| 技術的対策 | : 溶接、溶断、研磨等の加工を行い、粉塵、ヒュームが発生する場合は適切な保護具を着用し、必要な局所排気、全体換気を行う。 |
| 安全取扱い注意事項 | : 重量物の為、転倒、荷崩れ、落下等に注意する。
鋼材の切断面、切削屑等により皮膚を傷つける場合がある為、取扱いには保護手袋を使用する。 |
| 保管上の注意事項 | : 水濡れ、酸、アルカリ若しくはそれらを含んだ物質との接触を避ける。
急激な温度変化、高温多湿の環境は避け、必要であれば雨水浸透防止、錆対策の為シート等、カバーを行う。 |

8. ばく露防止及び保護措置

通常状態では固体の為、ばく露防止及び保護措置に該当する有用な情報はない。

但し、溶接、溶断、研磨等の加工の際は粉塵、ヒューム等が発生し、眼や皮膚への接触や吸入の防止及びアークや切削屑等から保護する為に、マスク、眼鏡、手袋、着衣等の保護具を着用する。

- 呼吸器の保護具 : 適切な呼吸器保護具を着用すること。
- 手の保護具 : 適切な保護手袋（布、皮等）を着用すること。
- 眼の保護具 : 適切な安全眼鏡、ゴーグル、顔面シールド等を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣、安全靴等着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状态, 形状, 色等 : 酸化被膜色（黒）の固体
- 臭い : 金属臭
- 融点 : 1500～1600°C
- 比重（相对密度） : 約 7.8g/cm³
- 溶解度 : 水に不溶

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 一般環境下では安定
- 危険有害反応可能性 : 強酸等の化学物質と接触すると、有害なガスを発生させる可能性がある。
- 避けるべき条件 : 高温多湿雰囲気
- 混触危険物質 : 強酸, 強アルカリ
- 危険有害性のある分解生成物 : 溶接, 溶断, 研磨等の加工時に粉塵, ヒューム等が発生する。

11. 有害性情報

製品の状態では安定している為、有害性情報についての情報はない。

溶接、溶断、研磨等の加工の際に生じる粉塵、ヒューム等は、呼吸器に機械的刺激や障害を起こす可能性がある。

12. 環境影響情報

現在の所、環境影響に関する有用な情報はない。

13. 廃棄上の注意

鉄スクラップとしてリサイクルする等、廃棄物処理法、関連条例に従い環境に配慮し適切な方法で処分する。

14. 輸送上の注意

輸送に関する国際規制対象物質に該当しない。

15. 適用法令

- 労働安全衛生法
- 化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）

16. その他の情報

本データシートは、日本工業規格 Z 7253 「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」を参考に作成しております。

又、弊社製品の安全な取扱いを確保するための参考資料として、作成時点で入手できる情報を提供するもので、記載のデータ等に関していかなる保証をなすものではありません。従って、本データシートには記載されていない当社が知見を有さない危険性がある可能性があります。

取扱事業者はこの情報に基づいて自らの責任において、適切な処置を講ずることが必要です。